TOSHIBA　東芝蛍光灯器具取扱説明書

保管用

対象機種	一般形蛍光灯埋込ダウンライト	
適合器具	FHD－21503－PD9 FHD－21504－PD9	FHD－31503－PD9 FHD－31504－PD9
適合ランプ	24Wユーライン3（FHT24）	32Wユーライン3（FHT32）
埋込穴寸法	φ150	

公共施設

FRS23－H241
FRS23－H321

※公共施設用照明器具は下表の通りです。

器具形名	公共施設形名	適合ランプ
FHD－21503－PD9	FRS23－H241	24Wユーライン3（FHT24）
FHD－31503－PD9	FRS23－H321	32Wユーライン3（FHT32）

このたびは東芝蛍光灯器具をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。
お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
この器具は、電源電圧100／200／242V共用の電子安定器を採用しております。また電源周波数に関係なくご使用できます。
●素人工事は法律で禁じられております。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
●工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

工事店様へ

施工上のご注意

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災の原因となります。

●電源線接続の際は、本取扱説明書の「器具の取り付けかた」に従って行ってください。
曲がった電線や、ねじって挿入すると接続が不完全となり、発熱、火災の原因となります。

●この器具は屋内用です。屋外、軒下および湿気の多い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。絶縁不良、感電等の原因となります。

●この器具の送りは、15Aまでです。
超えて使用しますと、感電、発熱、火災の原因となります。

●アース工事は電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。アースが不完全な場合には、感電の原因になります。
（D種(第三種)接地工事）

●この器具は天井埋込専用器具です。傾斜天井、壁面には、取り付けないでください。指定以外の取り付けを行うと器具落下の原因となります。

●調光制御装置には必ず適合する機種を組み合せてください。誤って使用しますと誤動作、火災の原因となります。適合表は、次項の調光制御装置の施工上の注意Ⅲをご参照ください。

●器具を改造したり、部品を変更して使用することは絶対におやめください。器具落下、感電、火災の原因となります。

●この器具は、振動の激しい場所には使用できません。そのまま使用しますと器具落下の原因となります。

■この器具は断熱施工不可です。

●この器具は、断熱施工不可です。
断熱施工される場合、取扱説明書内の「断熱材・防音材の施工方法」に従った特別な施工が必要です。そのまま施工されますと火災の原因となります。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

●この器具は屋内専用で、5℃～35℃の範囲で使用するよう設計してあります。高温で使用しますと火災の原因となります。
屋外や湿気、水気のある場所で使用しますと、湿気の浸入による絶縁不良、感電の原因になります。

●換気方式などにより風がランプに流れるような設置場所は避けてください。照度低下の原因となります。

●器具表示された電源電圧（定格電圧±6％以内）以外の電圧でご使用しないでください。間違って使用しますとランプ、安定器などの短寿命、火災の原因となります。
（器具の定格電圧と電源電圧は器具を取り付ける前に必ず確認してください。）

●器具同士は密着させたり、集合させて使用しますと、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。

お客様へ

使用上のご注意

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。
感電の原因となります。

●ランプや器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものを近づけたりしないでください。
火災の原因となります。

●器具の隙間や放熱穴に金属物などを差し込まないでください。
感電や火災などの原因となります。

●ランプ交換の際は、必ず本体表示ならびに取扱説明書通りの種類・ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。適合ランプ以外をご使用の場合には、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

●点灯中および消灯直後(約 20 分)はランプおよび器具が高温となっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。

●器具を水洗いしないでください。
感電、故障の原因となります。

●器具を洗剤・薬品などでふいたり殺虫剤をかけないでください。
器具の破損、落下、感電などの原因となります。

●器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で浸したやわらかい布をよく絞ってからふいてください。

●ランプを清掃する際はランプを器具から外して乾いた布でふいてください。

●この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、使用環境によって異なりますが、約 10 年です。

●定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。

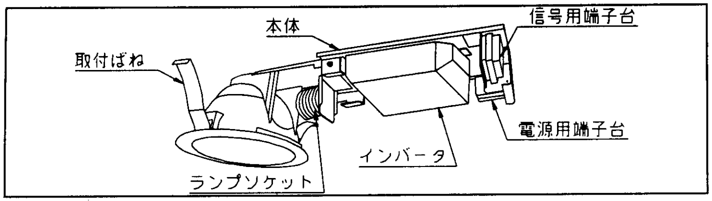
●照明器具には寿命があります。設置して 10 年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度 30℃、年間 3000 時間点灯です。周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。

●1 年に 1 回は「安全チェックシート」により自主点検、および定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。
(「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。)

●点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

＜生産完了 2007年10月01日＞

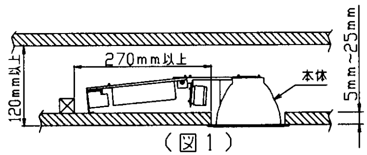
■各部のなまえ


本体
信号用端子台
取付ばね
電源用端子台
インバータ
ランプソケット

■器具の取り付けかた

1 器具の埋込穴

1. 天井に埋込穴(φ１５０±２㎜)をあけてください。
   ※埋込穴より２７０mmの範囲に障害物がないことを確認してください。
   ※天井内高さは１２０mm以上としてください。(図１)

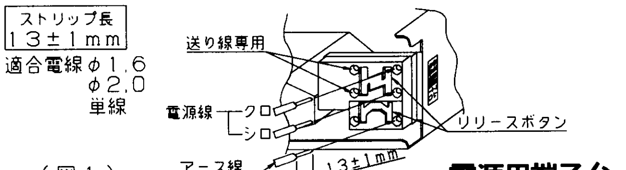

270mm以上
120mm以上
本体
5mm~25mm

（図１）

2. 取付前に器具重量に十分に耐えるよう、取付部の強度を確保してください。
   ※ロックウール等、柔らかい天井材への取り付けはしないでください。
   器具落下、天井材破損の原因となります。
   ※取付可能天井厚は、５㎜～２５㎜です。

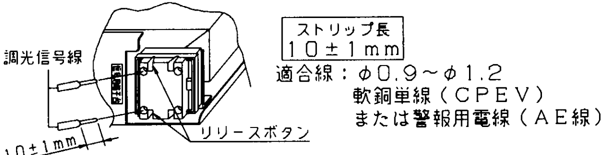
2 電源の接続と抜きかた

1. 電源線の被覆を(図２)のように、信号線の被覆を(図３)のように所定の長さにストリップしてください。
2. 電源線を確実に電源用端子台の奥まで差し込んでください。
   ※曲がった電線を挿入したり、こじって挿入しないでください。接続が不完全な場合は、感電、火災の原因となります。
3. アース線を用いてD種(第三種)接地工事を施してください。
   ※アースが不完全な場合には感電の原因となります。
4. 送り配線は、照明器具専用です。
   ※送り容量は本体表示に従い、１５A以下で使用してください。
5. 器具本体に電源線を接触させないでください。感電、火災の原因となります。
6. 信号線を信号用端子台の奥まで差し込んでください。接続が不完全な場合は、感電、火災の原因となります。
7. 電源線･信号線を引き抜く際は、必ず電源を切り、リリースボタンをマイナスドライバーで強く押しながら電源線・信号線を引き抜いてください。


ストリップ長
１３±１mm
適合電線φ1.6
φ2.0
単線
送り線専用
電源線
クロ
シロ
リリースボタン
アース線
13±1mm

（図１）

電源用端子台


調光信号線
ストリップ長
１０±１mm
適合線：φ0.9～φ1.2
軟銅単線（CPEV）
または警報用電線（AE線）
リリースボタン
10±1mm

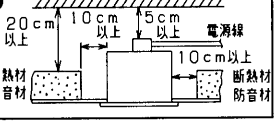
（図２）

信号用端子台

3 断熱材・防音材の施工法

（住宅の断熱施工天井ではご使用できません。
住宅以外の断熱施工天井でご使用の場合の施工方法）

- ・電源線は断熱材・防音材の上側にくるように配線してください。
- ・器具本体に電源線を接触させないでください。


20cm
以上
10cm
以上
5cm
以上
電源線
10cm以上
断熱材
防音材
断熱材
防音材

4 本体天井取付方法

注）取り付けに不備がありますと落下の原因となります。

1. 本体を(図４)のように端子台側から埋込穴に挿入し、取付バネ(２ヶ所)を矢印方向に縮め(①参照)、埋込穴に引っ掛けゆっくりと本体を押し上げ確実に取り付けてください。(②参照)

■調光制御装置の施工上の注意

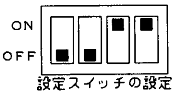
下記の調光制御装置をご使用して調光をおこなうことができます。
調光制御装置と組み合わせてご使用になる場合は次の点にご注意ください。

Ⅰ. ＳＥＳＬをご使用の場合

①ＳＥＳＬは必ず下記に示す製品をご使用ください。
・あかりセンサータイプ(１００V、２００V、２４２V共用)
ＤＦ－２０２０６ＸＤ７、ＤＦ－２０２０７ＸＤ７、ＤＦ－２０２０４ＭＸＤ７
・あかり＋人感センサータイプ(１００V、２００V、２４２V共用)
ＤＦ－２０２０６ＺＤ７、ＤＦ－２０２０７ＺＤ７、ＤＦ－２０２０４ＭＺＤ７
②電源線（２線)、調光線（２線）が必要になります。
③電源線は、ＳＥＳＬ用と器具用の２系統必要となります。

Ⅱ. コントルクス（ＦＬコントルクスＰＤ）をご使用の場合

①ＦＬコントルクスＰＤは必ず下記に示す製品をご使用ください。
・ＤＦ－７０１６０－ＰＤ(１００V、２００V、２４２V共用)
②その他のコントルクスとは適合しません。
③電源線（２線)､調光線（２線）が必要になります。
④コントルクスと照明器具との総配線長は１００m以下（片道５０m以下）としてください。
⑤設定スイッチを右図のようにセットしてください。



設定スイッチの設定

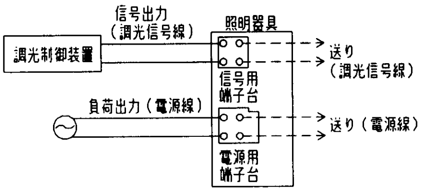
Ⅲ. その他の調光制御装置との組み合せにおいては下表をご確認ください。

<組み合せ適合表>

調光制御装置タイプ	適合可否	調光制御装置タイプ	適合可否
SESL3	○	DF-70160-PD	○
SESL II　高機能形	○	その他のコントルクス	×
SESLパネルコントロール	×	MESL　調光センサ	○
ムーディム	×	MESL　調光端末器	×

○・・・適合可　　×・・・適合不可

- ・その他ＳＥＳＬ、コントルクスの施工上の注意についてはそれぞれ個別のサービス図面または、取扱説明書をお読みください。
- ・器具への結線の際、電源用と信号用の端子台を間違わないよう接続してください。誤結線しますと安定器が壊れます。
- ・調光信号線は、φ０．９～φ１．２の単線をご使用ください。


信号出力
（調光信号線）
照明器具
調光制御装置
送り
（調光信号線）
信号用
端子台
負荷出力（電源線）
送り（電源線）
電源用
端子台

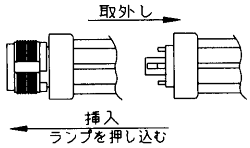
調光制御装置との結線図

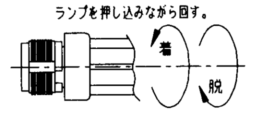
■ランプの着脱方法

1. ランプ取り付け手順

手順１：ランプをソケットに合わせてまっすぐに挿入した上で、ランプをソケットに密着するように押し込む。

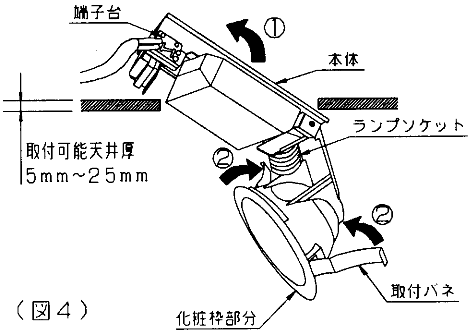
手順２：ランプを押し込みながら、時計方向(下図矢印にて示す)に回す。


取外し
挿入
ランプを押し込む


ランプを押し込みながら回す。
着
脱

2. ランプ取り外し手順
「ランプ取り付け手順」の逆手順

2. ランプ(別梱包)をランプソケットに確実に取り付けてください。
   ※ランプの着脱方法参照
   ※ガラス部分を強く握らないでください。
   割れる恐れがあります。


端子台
①
本体
ランプソケット
取付可能天井厚
5mm~25mm
②
②
取付バネ
化粧枠部分

（図４）

保証について
- ・保証期間は、商品お買い上げ日より１年間です。但し、蛍光灯器具・ＨＩＤ器具の安定器（インバータバラスト含む）については３年間です。
- ・ランプ、点灯管、蓄電池などの消耗品やセード、リモコン送信機は対象外です。
- ・２４時間連続使用など、１日２０時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

・ご転居されたり、贈答品などで販売店（工事店）に修理のご相談ができない場合
「東芝家電修理ご相談センター」　0120−1048−41
・新製品などの商品選び、お取扱・お手入れ方法などのご相談
「東芝家電ご相談センター」　0120−1048−86
・携帯電話、ＰＨＳからのご利用は　(03)3426−1048（有料）
※フリーダイヤルは、携帯電話、ＰＨＳなど一部の電話ではご利用になれません

電話で 24時間 365日 お応えします

東芝ライテック株式会社　電材照明社　〒140-8660 東京都品川区南品川 2-2-13（南品川 JN ビル）　TEL (03) 5463-8768　FAX (03) 5463-8824

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

＜生産完了 2007年10月01日＞